

一般質問は

質問方法

次の3通りから議員が選択します。

- ①一括質問方式（演壇で行い、3回まで可能）
- ②一問一答方式（発言席で行い、回数制限なし）
- ③1回目は演壇で一括質問、
2回目以降は発言席で一問一答方式



議員席前に設置した発言席で行う一般質問のようす（一問一答方式）

八王子芸術祭2025の取り組みは

文化芸術

問

7年11月8日から開催している八王子芸術祭2025※は、2年ごとに開催地を巡回する、地域密着型の旅する芸術祭である。地域の魅力を引き出すため、文化芸術をどのように活用しているのか。

答

今回の地域では、歴史的に織物やものづくりが行われている。その特性を踏まえ、織物をモチーフにした展示や、使われなくなった染物工場などの廃工場を活用した作品展示等を行うことで、地域の新たな魅力と価値の創出に取り組んでいる。



身近な地域で、その地域ならではのアートや文化に触れることができる八王子芸術祭

問

本芸術祭を開催したことで、10年後の市のビジョンをどのように考えているのか。

答

本芸術祭は、身近なところで気軽に文化芸術に触れる機会を提供し、新たな地域の魅力に気付くきっかけであるとともに、新たな価値をつくり上げる事業と考えている。10年間にわたる事業を実施する中で、文化芸術を身近で楽しみ、心の豊かさや潤いのある生活をもたらすなど、多様な地域特性をいかしたまちづくりにつながるよう、取り組みを進めていく。

学校教育

不登校児童・生徒へのさらなる支援体制は

問

5年度に策定した不登校総合対策「つながるプラン」により、子どもたちが安心して学べる環境づくりを進めているが、その内容は。

答

図書館や学校給食センターなどとの連携を進めるとともに、オンライン教育支援センター「はちっこるーむ」を開設し、多様なニーズに応じた支援を展開している。今後は、相談や指導を受けやす

問

い拠点の確保に加え、学習面や生活面で困難を抱える児童・生徒が安心して学べる環境の整備が必要と認識している。

答

学校外の居場所として、卒園した幼稚園や保育園等であれば、子どもや保護者に寄り添った支援ができると考える。幼稚園や保育園等の協力を得ながら、不登校対策をさらに充実してもらえないか。



不登校対策の一つとして給食を提供し学校外の居場所にもなる給食センター

問

修学旅行や移動教室を含めた校外学習で得た経験等

校外学習の充実に向けて

答

は、その後の人生の可能性を大きく広げるものと考えているが、修学旅行や移動教室で期待される効果は。

目的地において教科等にかかわる学習を効果的に行うとともに、児童・生徒が自然や文化に親しみながら、普段とは異なる環境の中で集団生活を経験することで、より良い人間関係を築く貴重な機会となっている。



問

バス会社の人手不足等により、バスの手配が難しい中、校外学習の機会をどのように確保するのか。

答

バスの利用は、児童・生徒の安全確保という意義もあることから、特定の期間に利用が集中しないよう、学校行事の実施時期を調整し、必要台数を確保している。今後、安全に配慮しながら、効果・効率的な手立てを講じ、校外学習の機会を確保することで、実体験を通して学ぶ教育活動の充実に向けていく。

※5年度に高尾など八王子西部から開始し、隔年開催で10年掛けて中野・大和田や、南大沢、戸吹、中心市街地等の5地域を巡る芸術祭。第2回目の今回は、中野・大和田・小宮・石川で開催